

<沖縄をもう一度日本一長寿県に>

いよいよわが惑星も異常気象に見舞われてきた感があります。私が関東地域に住むようになってから60年余になりますが、関東地域においてたった1吹の嵐で生活が無残にも現代社会の盲点を直撃しました。それに加えここ数年の西日本における自然災害は想像を絶するものでした。この現象は気候変動によるものと多くの学者は主張しているのですが、ある国の政治家たちは認めようとせず、特に氷河が解けて海面上昇が問題になり、中には深刻な局面にある国さえあります。このことが今国連で話題になっています。この地球の温度が1度上昇することで我が国にも大きな影響を与えてきています。これらの変化は我々の生存にも大きな影響をもたらしています。これらは自然界の現象ですが、しかし私たちの周りにはこれだけではなく多くの人為的な我々の生活に影響を及ぼす事柄が出現してきました。

私たちの周囲には日常生活に必要な情報が氾濫しています。それらの中から私たちが健康で幸せに生きていくために必要なものを選ぶのが大変です。しかもこれらの情報が限られたものへの適応にも関わらず万人へ適応されるかのように情報が発せられています。そのような中に生きている私たちは、何が自分にとって良いものなのか選択するのに迷います。でも最終的に選択するのは私たち自身です。今の世の中では絶対的に万人に適応する基準は存在しません。これらの基準は移ろいがちなものでしかありません。情報は日進月歩で変わってきます。

さて本通信の目的である健康情報に入りますが、ここで少し私の体験を少し述べさせていただきます。

今から約5年前になりますが、呼吸困難になり緊急入院人になりました。いろいろな検査の結果、医師から告げられたのは3つの難病でした。原因がわからない病名に使うのが「特発性・・・」です。僕の場合は「特発性間質性肺炎」、「自己免疫性疾患」「血小板減少性紫斑病」などでした。その時に医師から告げられたのが、「酸素は手放せなくなります」ということでしたが、そのときも漢方や青汁を利用することで、酸素を使用しなくてもよいまでに回復しました。しかし今年になり肝臓病のために黄疸が現れてその治療のために5週間入院しました。「自己免疫性疾患」や肝臓の治療のため薬を処方されたが、一向に改善の兆しはありませんでした。得に心配されていたのが「自己免疫性疾患」でした。すでに5年間も同じ薬の投与で一向に血液検査に変化はありません。退院と同時に処方される薬だけでなく前から愛用していた漢方を再度取り寄せて飲むようにしました。退院するとすぐに毎朝青汁